

中学生英語スピーチコンテスト開催結果

9月18日（日）、クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）小ホールを会場に、第11回目となる中学生英語スピーチコンテストが新型コロナウイルス対策をした上で開催されました。

当日は、午後1時半に開会し、山谷洋子中学生英語スピーチコンテスト実行委員長と高橋昌和市長の挨拶の後、スピーチが開始されました。今回は中学1年生から3年生まで7名が参加し、それぞれが日頃感じている思いや考えをスピーチに込めて発表しました。

自由なテーマのもと発表されるスピーチは、友達のことや将来の夢など多岐に富んだ内容となっており、出場者は舞台上での発表に緊張しながらも頑張って英語でスピーチを披露しました。



来場者約 90 名



◆入賞者発表&表彰◆

全員のスピーチ発表が終了後、休憩を挟んで 2021 年度スピーチコンテスト上位入賞者2名による活動報告を行い、スピーチコンテストに出場したことや東京グローバルゲートウェイでの英語体験研修を通じて経験したことを発表しました。

その後の表彰式では、最初に来場者の投票による選ばれたオーディエンス賞が発表され、国際交流協会の三浦義政副会長から賞状と副賞の記念ボールペンが贈られました。

続いて、審査員特別賞受賞1名に菅家知洋審査委員長から賞状が授与されました。続いて、第6位から順番に名前が発表され、第6位には秦野丹沢ライオンズク

ラブの飯田文宏会長、第5位には秦野名水ロータリークラブの古谷スミ子会長、第4位は秦野パサデナ友好協会の山口昌男理事から賞状が授与されました。

第3位は秦野・坡州友好協会の福森登会長から、第2位には秦野ロータリークラブ三嶽聖会長、優勝者には、秦野市国際交流協会の会長でもある山谷洋子実行委員長氏からそれぞれ賞状と楯が授与されました。

第3位には、西中学校2年の林和泉さん、第2位には、鶴巻中学校3年の鈴野武琉さんが入賞しました。そして、栄えある第1位は、渋沢中学校3年のミラー最愛さんでした。

今年度は、上位入賞者6名と審査員特別賞1名、合わせて7名全員に副賞（東京グローバルゲートウェイ英語体験研修&テーブルマナー体験研修・1泊2日）が贈られます。

最後に、菅家知洋審査委員長から、スピーチをするコツとして、3つのトピックス（社会問題や日常生活での疑問や普段感じている良いことや良い考え・今まで知らなかったこと）を普段の生活から考えることが大切ということをお話いただき、コンテストは幕を閉じました。



入賞者

- 第1位 ミラー 最愛
- 第2位 鈴野 武琉
- 第3位 林 和泉
- 第4位 今野 由純
- 第5位 久保田 来望
- 第6位 アタパトゥー ヘサンヤ
- 審査員特別賞 山口 樹乃

オーディエンス賞 鈴野 武琉